

内子町環境マネジメントプログラム [エコオフィス]

環境方針／目的／目標	主な実行手段	2030年度目標 (2023年度比)	年度目標(2023年度比)					
			2025	2026	2027	2028	2029	2030
1. 温室効果ガスの排出量削減								
(1) 電気使用量の削減								
①電気使用量を削減する。	①空調使用の際は、適切な室温管理に努める。	10%減 (※)	1.7% 減	3.4% 減	5.1% 減	6.8% 減	8.4% 減	10.0% 減
	②定期的にフィルター清掃や点検などを行い、効率的な使用を心がける。							
	③グリーンカーテンやブラインド等を活用し、冷暖房効率を上げる。							
	④不要な照明の消灯、消し忘れの防止に努める。							
	⑤照明機器を新設・更新する際は、省エネタイプを優先導入する。							
	⑥OA機器等の省電力モードを活用する。							
	⑦長時間使用しない場合は主電源を切るなど、待機電力の節減を図る。							
	⑧温水便座は季節に応じて温度設定を調節する。加温時はふたを閉め、消費電力を節減する。							
	⑨電気ポットの適正利用を心がける。							
	⑩給湯器を使用する際は、適切な温度設定を行う。							
	⑪荷物の運搬や体調不良の場合等を除き、職員のエレベーター利用を控える。							
	⑫ノー残業デーを徹底し、電気の使用時間の短縮に努める。							
②環境に配慮した施設・設備等の整備を進める。	①高断熱ガラスや自然採光の活用など、環境負荷の低減に配慮した施設の整備に努める。							
	②空調・熱源・照明などを新設・更新する際は、高効率・省エネ機器の導入を推進する。							
(2) 燃料使用量等の削減								
③重油・灯油・プロパンガスの使用量を削減する。	①適切な温度設定、維持管理を行い、効率的な使用を心がける。	8%減 (※)	2.7%減	5.4%減	8.0%減			
	②機器の新設・更新の際は、環境負荷の低減に配慮した製品の導入を優先する。							
	③内子町バイオマスタウン構想に基づき、バイオマスエネルギーの活用を進める。							
④公用車等の燃料使用量を削減する。	①近距離の移動は徒歩や自転車利用を心がける。公共交通機関の利用を推進する。	8%減 (※)	2.7%減	5.4%減	8.0%減			
	②エコドライブを徹底するとともに、カーエアコンの適正利用を心がける。							
⑤公用車等の走行距離を減らす。	乗り合わせの励行や走行ルートの見直しなどにより、効率的な運行を図る。	11%減 (※)	3.7%減	7.4%減	11.0%減			
⑥電動車の導入を進める。	代替可能な車種がない場合を除き、更新可能な公用車のすべてを電動車(EV・FCV・HVなど)とする。	100%	100% (更新可能な公用車)					
2. 天然資源の保護								
(3) 紙類の使用量の削減								
①コピー用紙等の使用量(購入量)を削減する。	ペーパーレス化を推進し、用紙等の使用量を削減する。	10%減	10%減					
(4) 節水								
①水道使用量を削減する。	日常的な節水に努めるとともに、定期的な点検により漏水防止を図る。	5%減	5%減					
(5) グリーン購入の推進								
①グリーン購入率の向上を図る。	グリーン購入ガイドラインに沿った物品購入に努める。	グリーン購入率 90%以上	90%以上					
3. 廃棄物の削減								
(6) ごみ排出量の削減								
①町全体の焼却ごみを削減する。	①5R推進等により1人1日あたりのごみ排出量の削減に努め、町全体の焼却ごみを減らす。	18%減	3%減	6%減	9%減	12%減	15%減	18%減
4. 環境学習・啓発・地域への波及								
(7) 環境に関する学習・活動等の推進								
①職員研修等を行う。	①環境意識啓発のため、各種研修の機会を設けるとともに、参加を促進する。	年1回以上	1回以上					
②地域の環境活動等に参加する。	①地域の清掃活動や環境ボランティア活動等に、積極的に参加する。	年1回以上	1回以上					
5. 環境汚染の発生防止								
(8) 公共工事における環境保全への配慮								
①自然環境・地域環境等、あらゆる環境に配慮した公共工事を行う。	①省エネ・省資源・工事施工に伴う汚濁物質の流出防止等、環境に配慮した施工計画を作成し、実施する。	90%以上	90%以上					

(※)温室効果ガス排出量換算で比較